

アートをつばさ12 オープニングセレモニー出席！

9月4日午前中、休暇をとって、**茨城県近代美術館**（水戸市千波町東久保666-1）に行きました。茨城県近代美術館開館30周年記念特別展「**ポーラ美術館コレクションーモネ、ルノワールからピカソまでー**」のオープニングセレモニーに出席するためです。

はじめて、美術展覧会の「**テーブルカット**」を間近で見ました。美術館マニアとして、至福の瞬間でした（＾＾）。この展覧会では、ポーラ美術館（神奈川県足柄下郡箱根町）の名品、**72点**が来ています。私は、ポーラ美術館には、これまで4回行っていきます。よって「**また会いましたね！**」という名品が多かったのですが、初めて観る作品もありました。

そして、何と展示前半の**37点**（マネ・モネ・ルノワール・セザンヌなど）は、**撮影可能**でした。ポーラ美術館では常設展の撮影が可能なのですが、まさかこの特別展でも撮影可能になるとは思っていませんでした。これは、両館の「**英断**」だと思います。

本日は、ポーラ美術館学芸課長の今井敬子さんによる、**スペシャルギャラリートーク**（60分間）もありました。専門家による解説は、大変勉強になります。新たな知見がいっぱいありました。**AAL**（アート・アクティブ・ラーニング）です！！

この特別展は、素晴らしいラインナップです。皆さんもぜひ見学してください。会期は、9月4日～11月18日です。何と**土曜日は高校生以下無料**です（通常は高校生980円・中学生480円）。11月13日（県民の日）は全員無料ですが、おそらく混みます。

私は、9月30日（日）の午後にも見学に行きます。見学後に、ポーラ美術館館長の**木島俊介氏の講演会**を聴くためです（事前申込・定員先着250名）。下のテーブルカット時の写真で、左から2番目の方が、美術史家・美術評論家として有名な木島俊介氏です。

スーツを着て真剣に鑑賞していたら、**読売新聞**の方から取材を受けました。そして、翌9月5日の朝刊25面にコメントが出ました。セザンヌの「アルルカン」を撮影している後ろ姿の写真も載りました。「**アートの秋**」です。皆さんも美術館に行ってみませんか。

